

令和7年10月7日

北九州市消防局

報道機関各位

～生存限界72時間を意識した24時間実践訓練～



8機関約70名で「北九州市国際消防救助隊総合訓練」を実施

海外の大規模災害への対応力を高めるため、近隣消防本部に加え、警察や海上保安庁などの他機関も参加する「北九州市国際消防救助隊総合訓練」を実施します！

この訓練は、生存限界の目安とされる発災から72時間という時間を意識して、24時間夜通しで実践的な訓練を行うもので、昭和62年から実施されており、今回で35回目を迎えます。

「国際消防救助隊」には全国77消防本部599人、北九州市消防局からも精鋭11人が登録されており、海外で大規模災害が発生した際に派遣されます。

1 日時・場所

① 結団式及び事前準備

令和7年10月16日（木） 9時30分から11時30分まで
北九州市消防訓練研修センター（小倉北区東港一丁目2番5号）

② 総合訓練

令和7年10月16日（木）14時から翌10月17日（金）11時まで
日本製鉄株式会社九州製鉄所 堂ヶ峰寮（戸畑区東鞆ヶ谷町5番1号）

※取材を希望される場合は、10月15日（水）17時までにご連絡ください。安全管理等の理由により、取材時間は、10月16日（木）9時30分～17時までとさせていただきます。ただし、その他の時間帯での取材をご希望の場合は担当までご連絡ください。

2 訓練概要

- 国内とは異なる環境下での活動に必要な知識や技術の習得、体力・精神力の向上を目指します。また、国際的なルールの理解を深めることも目的としています。
- 日本製鉄株式会社のご協力のもと、実際の建物（堂ヶ峰寮）を使用し、地震で倒壊した建物を想定した実践的な訓練を実施します。具体的には、コンクリートの壁や床など破壊しながら、要救助者を救出する訓練を行います。（詳細は別紙のとおり）

3 参加機関

北九州市消防局、福岡市消防局、下関市消防局、熊本市消防局、大分市消防局
福岡県警察、第七管区海上保安本部、国際緊急援助隊救助チーム医療班
計8機関 約70名

4 主催

北九州市消防局

5 協力

日本製鉄株式会社九州製鉄所

6 問い合わせ先

北九州市消防局警防課救助係 担当 塚本、友田 電話番号：093-582-3817

訓練概要

1 訓練スケジュール

日 時	場 所	概 要
10月16日(木) 9時30分～11時30分	消防訓練研修センター	結団式、訓練想定・資器材説明、班編成等海外派遣時同様のシミュレーション
12時～14時	移動	資器材積載～移動～資器材振り分け、準備
14時頃～翌11時	堂ヶ峰寮	活動開始～活動終了
11時～12時	移動	資器材撤収後、消防訓練研修センター移動
14時～14時30分	消防訓練研修センター	解団式

※時間は前後する場合があります。予めご了承ください。

2 訓練の詳細（10月16日(木) 14時頃から）

想定	活動内容（イメージ）	
訓練想定A	・初動活動（地震警報器の設定や危険エリアの明示等） ・進入、救出のための木材を使用した壁面の安定化 側方への壁（コンクリート）の穿孔 上方への天井の穿孔 ・要救助者の救出 等	 
訓練想定B	・初動活動（同上） ・進入、救出のための重量物の移動、床面（コンクリート）の穿孔、側方への壁（コンクリート）の穿孔 ・高度救助器具を使用した要救助者の搜索 ・要救助者の救出 等	 
訓練想定C	・初動活動（同上） ・進入、救出のための木材を使用した壁面の安定化 側方への壁、上方の天井（コンクリート）の穿孔 ・要救助者の救出 等	 
訓練想定D	・初動活動（同上） ・進入、救出のための重量物の移動 ・高度救助器具を使用した要救助者の搜索 ・医療班と連携した狭隘空間からの救出 等	 